



～“讚” 平和を讃えて～

広島交響楽団

第23回 廿日市 定期演奏会

徳永二男の世界
ヴァイオリン・ファンタジーとロマンのタクト

ヴァイオリン・指揮／徳永二男
Violin and Conductor : Tsugio Tokunaga



ハープ／早川りさこ (NHK交響楽団)
Harp : Risako Hayakawa

2020年 4月19日(日)

15:00開演 (14:30開場)

※ 文化ホール ウッドワンさくらびあ大ホール

ロッシーニ：歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲
Rossini : Il Barbiere di Siviglia, Overture

ブルッフ (没後100年)：スコットランド幻想曲作品46
[ヴァイオリン独奏：徳永二男 ハープ：早川りさこ]
Bruch : Schottische Fantasie Op.46
[Vn Solo : Tsugio Tokunaga Harp : Risako Hayakawa]

ブラームス：交響曲第3番へ長調作品90
Brahms : Symphony No.3 in F major Op.90

■入場料 全席指定(税込)

S席3,800円/A席3,300円/学生1,500円(A席より)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象です。当日要学生証提示。

※学生席は割引なしでウッドワンさくらびあ事務局、広響事務局のみ

※未就学児の入場はご遠慮ください。

■チケット発売日

さくらびあ倶楽部会員/2月2日(日) 一般/2月9日(日)

広響事務局/2月10日(月)

- さくらびあ倶楽部会員/500円引(ポイント対象外。オンラインチケットの取扱いはありません。)
- 広響会員/1割引(ウッドワンさくらびあ事務局、広響事務局のみ。当日の割引はありません。)
- ちゅーピーくらぶ/1割引(中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局、ウッドワンさくらびあ事務局、当日の割引はありません。)

プレイガイド／

エディオン広島本店、フジグランナタリー、ウッドワンさくらびあ事務局、ローソンチケット(Lコード61839)、チケットぴあ(Pコード176-627)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局

■主催／公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■特別協賛／ 中国電力 ■協賛／ウッドワン、シブヤ、デリカウイング、フマキラー、山崎本社 ■後援／廿日市市、廿日市市教育委員会

お問い合わせ／ウッドワンさくらびあ事務局 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

アクセス／広電宮島線「廿日市市役所前」駅から徒歩7分、JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。



～“讚” 平和を讃えて～

広島交響楽団 第23回廿日市定期演奏会

徳永二男の世界～ヴァイオリン・ファンタジーとロマンのタクト

長年NHK交響楽団のコンサートマスターとして活躍し、現在は指揮者、音楽祭の音楽監督、

数々の後進の育成など日本を代表する音楽家として確固たる存在感を示す徳永二男。

ヴァイオリン弾き振りによるブルッフと円熟した音楽家ならではのタクトでブラームスのシンフォニーをおおくりします。

ヴァイオリン・指揮／徳永二男 *Violin and Conductor : Tsugio Tokunaga*

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。

ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園にて、齋藤秀雄氏に師事。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。1968年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。

1976年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担い、長年NHK交響楽団の“顔”として抜群の知名度と人気を誇る。

NHK交響楽団在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれ、とりわけ、ケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演での、ヴォルフガング・サヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートに出演して絶賛を博した。

1994年にNHK交響楽団を退団し、ソロ、室内楽に専念。

1992年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰し、1995年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、1996年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。

ソリストとしても、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。

2008年から毎年、東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。

2015年は、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務めた。

2016年には、楽壇生活50周年を迎え、多くの記念公演を行い、文化庁長官表彰も受ける。

近年は指揮者として、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。2018年には、ギドン・クレーメルをソリストに迎え、クレメラータ・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮して好評を博した。

CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、バガニーニのカプリースなどをリリースしており、最新盤は「Tango」(オクタヴィア・レコード)。

桐朋学園大学特任教授。



©ヒタキトモコ

ハープ／早川りさこ *Harp : Risako Hayakawa*

NHK交響楽団ハープ奏者。

東京藝術大学卒業後、第3回日本ハープコンクール、第2回アルピスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハープコンクールにて優勝。

オーケストラとの共演など活動の幅も広く、ヒンデミット「木管楽器、ハープとオーケストラのための協奏曲」

オルウィン「ハープ協奏曲」、リーパーマン「フルートとハープの為の協奏曲」の日本初演を行なっている。

2013年には、グラミー賞及びアカデミー賞受賞の作曲家タン・ドゥンの『13のマイクロフィルムとハープの為の協奏曲』を作曲者自身の指揮でNHK交響楽団と世界初演した。(NHK交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の共同委嘱作品)

2006年から2019年東京藝術大学にて講師を務め、現在は国立音楽大学にて後進の指導にあたっている。



広島交響楽団 *Hiroshima Symphony Orchestra*

国際平和文化都市“広島”を本拠地に“Music for Peace ～ 音楽で平和を”をテーマに活動するプロ・オーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。

クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジ

デンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。

1963年設立。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれ、海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。

「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞。 公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

